

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成29年5月22日 VOL. 35

高齢者のための「支え合いの地域づくり」施策が動いています！

だれもが安心して住み慣れた地域でいつまでも過ごせる「地域包括ケアシステム」を確立するためには、地域住民による地域づくり活動やボランティア活動など「互助」の取組が欠かせません。こうした取組を加速するため、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、協議の場（協議体）を設置して「支え合いの地域づくり」施策を本年度当初から活発化させています。

「生活支援体制整備事業第1層協議体」を開催しました！

平成29年5月10日（水）に高齢者の生活支援のための施策を協議する「第1層協議体」を開催し、高齢者を支えるインフォーマルサービスなどを掲載した地域資源マップの作成、今年度の高齢者のための支え合いの地域づくりを推進するための事業の展開などについて協議しました。この会議は、介護保険法に基づく「生活支援体制整備事業」の一環として、高齢者の支え合いの地域づくりを推進するための施策について協議するためのもので、平成29年3月16日（木）の第1回目につき、市職員や市社協職員が意見交換をしました。



地域資源マップ

市内初！「地域支え合い会議」が岡部地区で開催されました！

平成29年5月16日（火）に、市内初となる「地域支え合い会議」（第2層協議体）が岡部地区で開催されました。この会議は、「第1層協議体」と同様「生活支援体制整備事業」の一環として、市内の日常生活圏域（自治会支部単位）ごとに地区社協を母体とした協議の場で、超高齢化社会を見据えた地域課題を情報共有し、それに対応するための取組を検討し、支え合いの地域づくりを推進するためのものです。本年度から市内各地区で展開していきます。



地域の現状を説明する
岡部地区の生活支援
コーディネーター

しだ介護サービス事業所協議会が「総合事業」の研修をしました。

平成29年5月16日（火）に介護保険事業者の団体である「しだ介護サービス事業者協議会」の定期総会が開催され、第2部の研修会で本年度からスタートした「介護予防・日常生活支援総合事業」（総合事業）の勉強会が行われ、約70人が参加しました。地域包括ケア推進課職員等がサービスの種別や特徴等について説明し、事業所の疑問点に答えました。介護保険事業者の出席者は、事業の趣旨や適切なサービスの利用の重要性を理解するとともに、新たなサービスへの参入を考える機会となりました。



疑問点に答える職員